

刺繍枠とは

刺繍をする際に布を張らせるためのリング状の道具です。

通常の刺繍枠は、内枠とその外側に重なる外枠の2つからなり、外枠にはその大きさ（径）を調節するための留め具が付いています。布を挟む際には内枠の上に布を乗せ、その上から外枠をはめ込んで布を挟み込み、そして最後に留め具によって布をきつく留め、布を張らせます。

通常、刺繍するには針、ハサミ、糸など多くの道具を使います。

## 課題

- ・ 多くの道具を使うことから、持ち運びにくい
- ・ 刺繍する場所が限定的
- ・ 糸が絡まったりして作業が煩雑になってしまう

刺繍枠の留め具の軸部分に収容具を連結させることで、いくつかの刺繍道具を刺繍枠にまとめられるようにしました。

軸周りに収容具は回転でき、作業に合わせて回転角度を調整できます。

図1：持ち運び時

図2：刺繍作業時

図3：立て掛けたり、飾る時

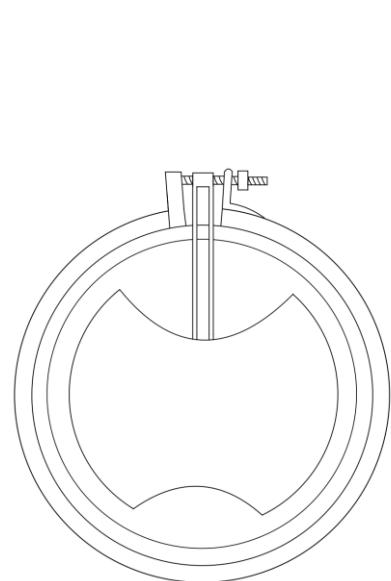


図1：0度回転

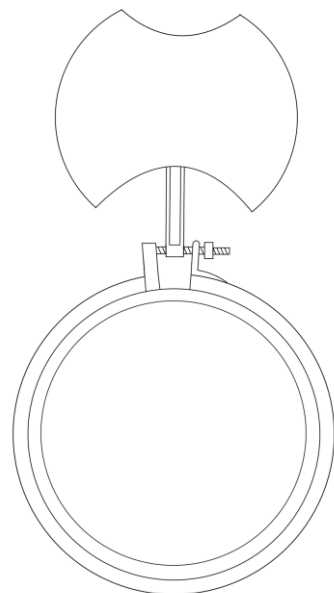


図2：180度回転

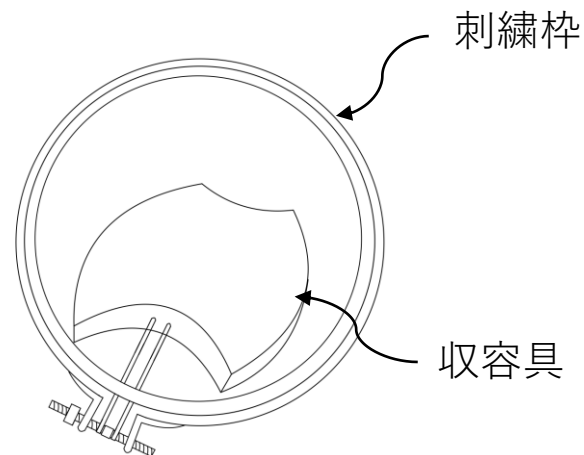


図3：60度回転

先行技術調査を行った結果、特開2011-144478号公報を発見しました。

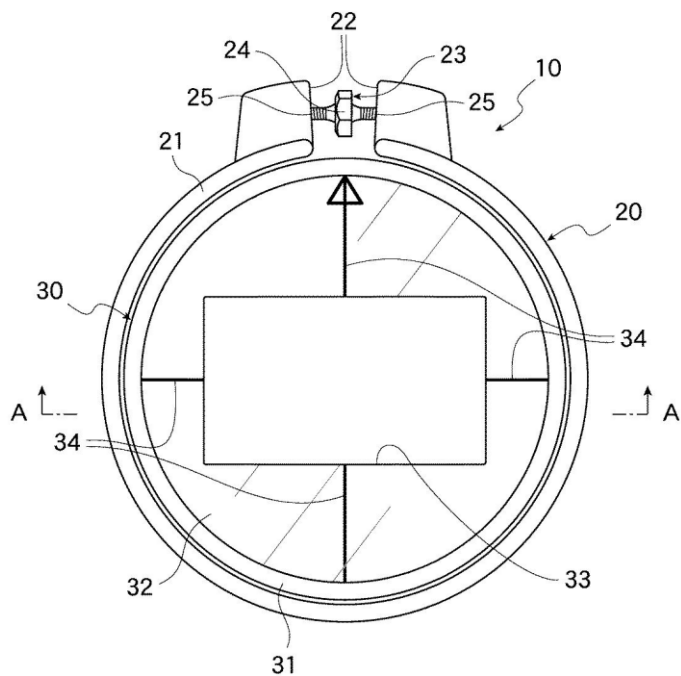
### 従来の刺繍枠でできること

複数の糸や、針、針を刺着する針刺しなどの刺繍道具を手元に置いての作業

### 従来の刺繍枠でできないこと

・ 移動中の車内や旅先等においては、刺繍道具を広げるスペースが限られ、効率よく被刺繍物に刺繍を施すことが難しい。

・ 持ち運ぶ際、刺繍枠とは別に刺繍道具も持ち運ばなければならない、持運び性が良好ではない。



特開2011-144478号公報

持運び性に優れ、限られたスペースにおいても、効率よく被刺繍物に刺繍を施すことができます。

